

サキホコレ
君の勇姿よ雪原に

第79回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会

あきた鹿角国スポ 2025 報告書



国民スポーツ大会マーク（JAPAN GAMES マーク）



国民体育大会の名称が「国民スポーツ大会」に変わる第78回大会に合わせて制定されました。

「J」と「G」のアルファベットモチーフで構成したシンボルは、地球を示す球体をあしらっており、一人ひとりの意志が旋を描いて混じり合い、地域住民と「JAPAN GAMES」が共にスポーツ文化を築いていくという想いが込められています。

スポーツを行う者の心得「日本スポーツ協会スポーツ憲章」抜粋

- スポーツを愛し、楽しむために、自発的に行う。
- 競技規則はもとより、自ら属する団体の規則を尊重し、フェアプレーの精神を尊重する。
- 常に相手を尊重しつつ、自己の最善を尽くす。
- アンチ・ドーピングに関する規定を遵守する。

テーマ

あきた鹿角国スポ 2025

秋田県鹿角市で開催される国民スポーツ大会として開催年の“2025”（ニーゼロニーゴー）を付して、分かりやすく表現されています。

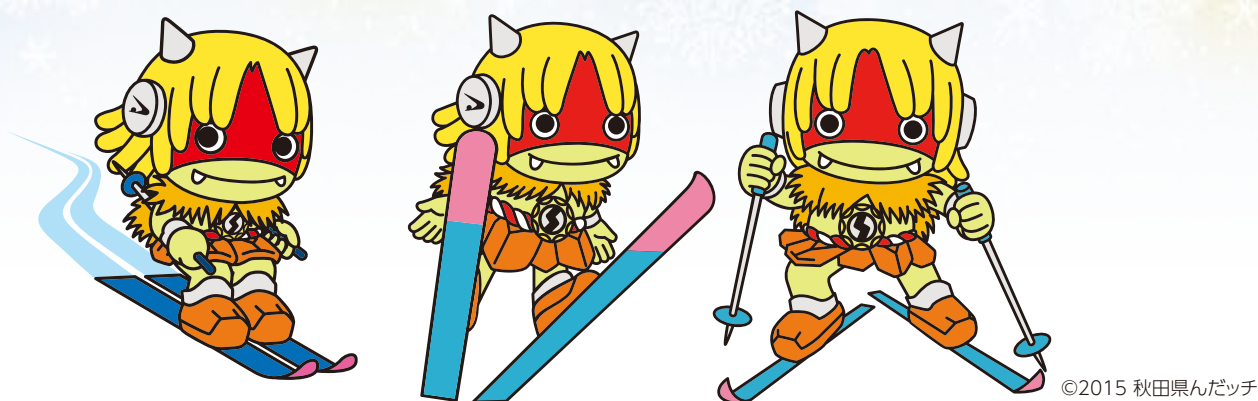
デザインは真剣勝負である国スポを表現するために明朝体を選択し、やや太めの書体と程良い文字間隔にすることで視認性と可読性を高めたものにしています。

スローガン

サキホコレ 君の勇姿よ雪原に

選手の皆さんが日頃の成果を発揮しベストを尽くし咲き誇ることができるようにという気持ちが込められています。

マスコット んだッチ



「んだッチ」は、近未来から秋田をPRするためにやって来た、なまはげ型の子どもロボットで、平成27年から秋田県PRキャラクターとして活動をしています。本大会のマスコットとすることで、秋田の魅力を県内外に発信するとともに、本大会に彩りを加えていきます。

参加章

1 デザイン



2 規格

大きさ：縦34mm×横29.5mm

厚 さ：0.8mm

材 質：真ちゅう製

3 説明

本大会の参加章は、秋田犬のシルエットの内部に、冬の澄んだ空から、選手たちが駆け抜ける美しいゲレンデに差し込む日差しを、淡い青や緑、ピンクのグラデーションで表現しています。秋田犬の凛としたたたずまいに、選手たちの挑戦する勇気を重ね合わせ、この大会が参加者の皆さんにとって、心に残る特別な思い出となるようにとの想いが込められています。

開始宣言

秋田県知事 佐竹 敬久

第79回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会にご参加の皆様、ようこそ秋田県にお越しくださいました。県民をあげて心より歓迎申し上げます。

選手の皆様には、「サキホコレ 君の勇姿よ雪原に」の大会スローガンのもと、郷土の代表としての誇りを胸に、日頃の練習で鍛えた力と洗練された技を存分に発揮され、十和田・八幡平の雄大な自然に恵まれ、温泉や郷土食が豊かな、ここ鹿角市の会場で熱戦を繰り広げていただくよう祈念申し上げ、ここに第79回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会「あきた鹿角国スポ2025」の開始を宣言します。

日本スポーツ協会あいさつ

公益財団法人日本スポーツ協会 常務理事 国民スポーツ大会委員会委員長 山本 浩

ジャイアントスラローム、クロスカントリー、スペシャルジャンプの3種目を1つのエリアで開催することができる全国有数のスキー場である花輪スキー場。

この素晴らしいスキー場を有するここ秋田県鹿角市において第79回国民スポーツ大会 冬季大会スキー競技会が開催されますことは、誠に喜ばしい限りです。

今大会のスローガンである「サキホコレ 君の勇姿よ雪原に」には、選手の皆さんが日頃の成果を発揮し、ベストを尽くし、咲き誇ることができるようにというが思いが込められています。

栄えある郷土の代表として参加される選手の皆さんはフェアプレー精神のもと、全力で戦い、友情を深めてください。

皆さんの活躍が、国民スポーツ大会のみならず、スポーツ界全体、とりわけウィンタースポーツの発展に寄与することを切望いたします。

さて、国民スポーツ大会を巡っては、今後の在り方に関して様々なご意見が寄せられておりますが、選手や開催地の皆さまはもとより、国民の皆さまがわくわくするような、魅力ある持続可能な大会とするため検討を進めて参ります。

結びに、冬季大会の開催地選定が大変厳しい中、短期間の準備にもかかわらず、開催をお引き受けくださいました秋田県、並びに鹿角市はもとより、多大なご支援を賜りました、日本スポーツ振興センター、JKA及び、ミズノスポーツ振興財団をはじめ、ご関係の方々のご理解とご尽力に対しまして、心から感謝の意を表し、併せて大会の成功を祈念申し上げ、あいさつといたします。

スポーツ庁あいさつ

スポーツ庁長官 室伏 広治

第79回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会が開催されるにあたり、一言御挨拶申し上げます。

選手の皆さん、栄えある郷土の代表として、「あきた鹿角国スポ2025」に出場されますこと、誠におめでとうございます。

これまで積み重ねてこられた練習の成果を遺憾なく発揮されるとともに、本大会から将来、世界の舞台へ羽ばたくアスリートが数多く輩出されることを期待しています。

ここ秋田県において、スキー競技会が「サキホコレ 君の勇姿よ雪原に」のスローガンのもと開催され、全国から集う選手たちが、美しさ、速さ、強さを競い合うことで、国民に夢と感動を与えるとともに、ウィンタースポーツの魅力を全国に発信し、スキー競技の更なる発展に寄与するものと確信しております。

スポーツ庁としましては、スポーツが国民の皆様を元気づけ、生活や心を豊かにし、心身の健康の保持増進につながるよう、関係の皆様と一丸となって取組を進めてまいります。

結びに、大会開催にあたり御尽力いただきました地元秋田県並びに鹿角市をはじめ関係の皆様方の御支援・御協力に対し、心から感謝の意を表しまして、挨拶いたします。

中央競技団体あいさつ

公益財団法人全日本スキー連盟 常務理事 競技本部長 河野 孝典

このたび、第79回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会「あきた鹿角国スポ2025」が、「サキホコレ 君の勇姿よ雪原に」をスローガンに、秋田県鹿角市を舞台に盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

長く我が国のアスリートやスポーツ愛好家の目標や憧れであり続けた「国民体育大会」も、昨年度より「国民スポーツ大会」へと名称を変えて、また新たなスタートを切りました。名称が変わってもわが国最大の国民スポーツの祭典であることは変わりません。参加される皆さまが、これまで培ってきたテクニックやパフォーマンスをいかんなく発揮し、白熱した戦いを繰り広げてくれることを期待するとともに、スキーを通じてお互いの親睦を深め、それぞれの競技活動をいっそう豊かなものにしていただきたいと願っております。

秋田県鹿角市での開催は2022年の第77回大会以来となりますが、国スポの長い歴史を見ても、幾度となく秋田県において本大会の開催を請け負っていただいております。スキー競技の各種目における国内でも有数の強化拠点であるからこそではありますが、昨今、全国規模の競技会を開催することが自治体・地域にとって大きな負担となってきているなか、本大会についても開催をお引き受けいただいていることに、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

終わりに、本大会の開催にあたり、多大なるご尽力とご支援を賜りました関係団体、諸機関、大会関係者、秋田県の皆様へ深甚なる敬意を表するとともに、本大会の成功を祈念し、あいさつとさせていただきます。

歓迎のことば

秋田県知事 佐竹 敬久

全国各地から多くの選手、役員並びに大会関係者の皆様をお迎えし、第79回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会「あきた鹿角国スポ2025」を開催できますことは、大きな喜びであり、秋田県民を代表して心から歓迎申し上げます。

本県におけるスキー競技会の開催は、令和4年の「美の国あきた鹿角国体2022」以来3年ぶり9回目、鹿角市においては6回目となります。

前回の大会は、コロナの影響で残念ながら無観客での開催となりましたが、今大会は全国から多くの方々を秋田らしいおもてなしの心でお迎えできることを大変嬉しく思っております。

全国各地の予選会を勝ち抜かれた選手の皆様には、「サキホコレ 君の勇姿を雪原に」のスローガンのもと、郷土の代表としての誇りを胸に、日頃の練習で鍛えた力と洗練された技を存分に発揮して熱戦を繰り広げられますことを期待するとともに、スポーツの力で全国に元気と勇気を届けてくれることを願っております。

また、本大会を通じて、壮麗な自然や豊富な郷土食、長年にわたり受け継がれてきた伝統文化など、さまざまな秋田の魅力を満喫していただけますと幸いです。

結びに、本大会の開催に当たり、多くの御支援と御尽力をいただきました関係者の皆様に心から感謝を申し上げ、歓迎のことばといたします。

歓迎のことば

秋田県議会議長 北林 丈正

第79回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会「あきた鹿角国スポ2025」が、ここ秋田県を会場に、全国各地から数多くの選手・役員の皆様をお迎えし盛大に開催されますことは、我々県民にとりまして大変喜ばしく、秋田県議会を代表いたしまして、心から歓迎を申し上げます。

さて、本県では、平成21年に「スポーツ立県あきた」を宣言し、県民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営めるよう、障害者、女性、高齢者などの多様な主体によるスポーツ活動を促進し、スポーツ参画人口の拡大に努めるとともに、「健康寿命日本一」を目標にスポーツを通じた健康増進を図るなど、様々な取組を展開しております。

こうした中で開催されます本大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神の高揚により国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにすることを目的としたスポーツの祭典であり、その意義は誠に大きいものがあります。

選手の皆様には、郷土の代表としての誇りを胸に、日頃鍛えた力と技を遺憾なく発揮され、輝かしい成果を挙げられますとともに、競技を通じて得られた感動と友情の絆を深められ、思い出深く、有意義な大会となりますことを期待いたします。

結びに、本大会の開催にあたり御尽力いただきました関係者の皆様に深く感謝を申し上げますとともに、選手の皆様の御健闘を祈念いたしまして、歓迎のことばといたします。

歓迎のことば

鹿角市長 関 厚

鹿角市長の関です。

十和田八幡平国立公園の雄大な自然に抱かれたここ秋田県鹿角市において、輝かしい歴史と伝統を誇る「第79回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会」が開催されますことは、大変光栄であり、全国各地からお越しいただいた選手および関係者の皆様の心から歓迎申し上げます。

本市での開催は、市制施行前を含めると、2022年（第77回大会）に続き、3年ぶり7回目（中止となった第76回大会を除く）となります。会場となる花輪スキー場は、アルペン、クロスカントリー、ジャンプの3つの競技を同時開催できる国内屈指のスキー場です。近年は、全国規模の大会が連続して開催されており、日本を代表する選手の皆さんも、ジュニア時代からこの花輪スキー場で研鑽を積み、技を競い合い、世界へと羽ばたいております。

選手の皆様には、自分自身への挑戦とチームの栄誉を目指して、日ごろ鍛えた力と技を存分に発揮されるとともに、「サキホコレ 君の勇姿よ雪原に」の大会スローガンのもと、情熱に溢れる熱戦が繰り広げられることを期待いたします。

さて、鹿角市は、明治を代表する歌人「石川啄木」が「青垣山をめぐらせる天さかる鹿角」と詠んだ、風光明媚な景勝地であり、4つの世界級の文化遺産を有する稀有なまちでございます。

秋田名物「きりたんぼ」の発祥の地である本市には、先ごろ地理的表示（GI）制度に登録されました「かづの牛」や、文化庁の認定制度である「100年フード」に申請中の「鹿角ホルモン」などの美味しい地元の食材、そして疲れを癒す温泉が豊富にあります。ぜひこの機会にご堪能いただき、広く宣伝くださいますようお願いするとともに、本大会が皆様の一生の思い出となりますようお願いしております。

結びになりますが、本大会の開催にご尽力いただきました（公財）日本スポーツ協会をはじめ、関係者各位に深く敬意と感謝の意を表しますとともに、選手の皆様の健闘を心から祈念いたしまして、歓迎のことばとさせていただきます。

選手の皆様、頑張ってください。

歓迎のことば

秋田県スキー連盟会長 田口 將

第79回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会「あきた鹿角国スポ2025」が「サキホコレ 君の勇姿よ雪原に」のスローガンの下、「スキーと駅伝のまち」を標榜しスポーツに対して並々ならぬご理解をいただいております鹿角市において3年ぶりに開催されます。参加されます選手、役員の皆様の心から歓迎申し上げます。

会場となる花輪スキー場は、コンパクトな会場と設備はもとより競技役員などにおいてもコンパクトな運営に努め、数多くの全国大会を毎年のように開催して関係者からは高い評価をいただきました。本大会も、その経験値は生かしつつも慣れにおごることなく誠意ある大会運営に努めたいと考えております。

昨年から国民体育大会が国民スポーツ大会へと名称が変わり、様々な課題がある中大会そのもののありようが今まさに議論されておりますが、関係者の皆様には本大会を通して雪国、スノースポーツの魅力を存分に発信し更なる発展に寄与していただきますよう期待しております。そして選手の皆さんには郷土の代表として日ごろ鍛えた力と技を十二分に発揮され、思い出に残る大会にさせていただきたいと願っております。

本大会の開催にあたり、格別のご支援ご尽力を賜りました関係者の皆様に心から感謝を申し上げますとともに、大会の成功と選手の皆様のご健闘を祈念いたしまして歓迎のことばといたします。

中央競技団体あいさつ

公益財団法人全日本スキー連盟 常務理事 競技本部長 河野 孝典

第79回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会、あきた鹿角国スポ2025の閉会を迎えるにあたり、全日本スキー連盟を代表してごあいさつを申し上げます。

本日、すべての競技を終え、この素晴らしい大会の幕を閉じることができました。選手の皆様、関係者の皆様、そして、温かいご声援を送ってくださった皆様に、心より敬意を表します。

今大会では、選手の皆様の熱い情熱と、日々の努力の結晶を目の当たりにしました。雪上で繰り広げられるスピードと技術の競演は、私たちに感動と興奮を与えてくれました。また、選手の皆様のフェアプレー精神と、互いを尊重する姿勢は、スポーツの素晴らしさを改めて教えてくれました。

今大会の開催にあたり、ご尽力いただきました秋田県、秋田県スキー連盟、鹿角市の皆様、そして、関係機関の皆様に、心より感謝申し上げます。皆様の温かいおもてなしと、万全な大会運営のおかげで、選手一同は最高のパフォーマンスを発揮することができました。

この大会を通じて、多くの選手が新たな目標を見つけ、未来への希望を抱いたことと思います。全日本スキー連盟は、今後も選手の皆様の夢を応援し、日本のスキー界の発展に貢献してまいります。

最後に、今大会にご参加いただいたすべての皆様に、改めて感謝申し上げます。この大会が、皆様の記憶に残る素晴らしい思い出となることを願っております。

ありがとうございました。

会場地あいさつ

鹿角市長 関 厚

鹿角市長の関です。

鹿角市において3年ぶりに開催となった「第79回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会」が、無事に表彰式を迎えられましたことに、一安心しているところでございます。

栄えある郷土の代表として、自身の限界に挑戦し、素晴らしい成績を収められた選手の皆様、誠におめでとうございます。

参加された多くの皆様の思い出に残る、素晴らしい大会になりましたことに、開催地を代表して心から感謝申し上げます。

ご存じのとおり、ここ花輪スキー場は、アルペン、クロスカントリー、ジャンプの3つの競技を同時開催できる国内屈指のスキー場です。来シーズン以降も全国規模の大会が開催されますので、皆様と再びこの鹿角の地でお会いできることを楽しみにしております。

今大会にかかわるすべての方々に、この場を借りて改めて感謝申し上げますとともに、皆様の益々のご活躍を祈念いたしまして、お礼の言葉といたします。

誠にありがとうございました。

終了宣言

秋田県副知事 神部 秀行

「サキホコレ 君の勇姿よ雪原に」のスローガンのもと、4日間にわたり、ここ鹿角市で開催されました「あきた鹿角国スポ2025」は、選手たちが持つ全国トップレベルの力や技術と、連日、繰り広げられたたくさんの方の熱戦により、大きな盛り上がり感動を残し、本日滞りなく全日程を終了することができました。

本大会の開催に当たり、多くのご支援やご尽力をいただきました関係者の皆様に心から感謝申し上げますとともに、各都道府県選手団の皆様のご活躍を期待いたしまして、ここに第79回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会の終了を宣言いたします。

開 始 式



競技風景・種目別表彰式



記録写真



競技風景・種目別表彰式



記録写真



競技風景・種目別表彰式



競技風景・種目別表彰式

記録写真



スナップ①



記録写真



スナップ②



表彰式



競技会場の改修工事

【ジャンプ競技】

令和6年度にジャンプ競技システムの更新工事を実施。

これまでの計測機器を更新したほか、新たにウインドファクターに対応した更新を行うことで、競技の公平性を確保するとともに、円滑な競技の実施が可能となった。



▲ジャンプ台

Rank	Slip	Name	Points	START No.	KAZUHO
1	204	海沼 史人	92.1	204	
2	203	池田 龍生	84.5		
3	201	鈴木 一世	65.9		
4	202	夏堀 福也	38.5		
	222	坂大 秀輝			
	216	畔上 祥吾			

SPEED	77.4 km	JUDGES
DIST.	75.5 m	A 16.5
W/F POINT	-12.4	B 16.0
POINT	92.1	C 16.5
TOTAL	92.1	D 17.5
POSITION	1	E 17.0

▲電光掲示板



▲スタート合図灯



▲ビデオ
判定カメラ



▲スキー場全景

成果品①



▲公式ポスター



▲大会プログラム



▲クリアファイル



◀多色ボールペン



▲ウェットティッシュ



▲ポケットティッシュ



▲不織布バッグ



▲キャップ



▲うちわ



▲実施本部員服飾



▲実施本部員服飾
(式典用)



▲実施本部員服飾
(屋外用)

成果品②



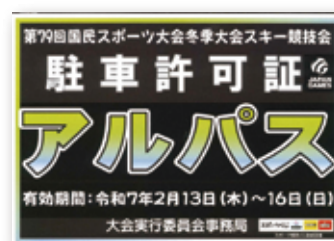
▲ADカード



▲賞状・表彰状ケース



▲賞状・表彰状額縁



▲駐車許可証



▲ビブス



▲のぼり